

話し相手ボランティア 養成講座開催のお知らせ

一人暮らしの高齢者などが孤独感（寂しさ）や不安などを解消できるよう精神面を支え心豊かな生活を支援することを目的に、話し相手となるボランティアを育成する養成講座を実施します。

ご興味がある方は、ボランティアセンターまで、お気軽にお問合せ下さい。



日時 平成28年6月30日（木）
10:00～15:00
（受付 9:30～）

場所 大野地区公民館 講座室

内容 ・ボランティア活動と話し相手ボランティアの役割
・高齢者の特性・コミュニケーションのとり方

サマーボランティア ・キャンペーン2016

今年も、7月1日から9月30日までボランティア体験期間として、子どもから大人まで、誰もが気軽にボランティア活動に参加できる「サマーボランティア・キャンペーン」が開催されます。



だい5かい 第5回させぼ びょういんかいさい おもちゃ病院開催

大切なおもちゃ・お気に入りのおもちゃで壊れているものはないですか？
動かなくなったり、音が出なくなったおもちゃはないですか？
私たちは、そんなおもちゃに新しい命をふきこみます。
壊れたおもちゃを持ってきてください。
原則無料で診察し修理します。

日時 平成28年6月18日（土）
10:00～15:00

場所 させぼ市民活動交流プラザ
2階 会議室A

7月は7月16日（土）開催予定です。

※させぼエコプラザで開催される「おもちゃかえっこバザール」においても、おもちゃドクターが診察・修理をおこなっています。

日時 毎月第3土曜日
10:30～14:30



～おもちゃかえっこバザールの様子～

全てのお問合せはボランティアセンターまでお願いします。

ボランティアセンター TEL: 23-3905/FAX: 42-0102
Mail: kureyon@sasebo-shakyo.or.jp

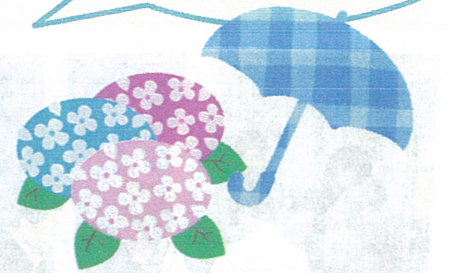


あなたらしさで広がるボランティア

くれよん

KUREYON

特集
災害ボランティア



2016年度 第2号
平成28年 6月1日

～熊本地震支援物資の仕分け作業を行う学生ボランティアの方々～



佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)

〒857-0864 佐世保市戸尾町5-1 させぼ市民活動交流プラザ1階

TEL: 0956-23-3905/FAX: 0956-42-0102 E-mail: kureyon@sasebo-shakyo.or.jp

時間/10:00～18:45(火～土) 10:00～17:00(日)

休日/月曜・祝日・年末年始



「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

熊本地震におけるボランティアの活動

～ 熊本地震支援物資を市民の皆さんに募り、たくさんご協力いただきました ～



平成28年4月19日(火)～4月24日(日)まで、熊本地震への支援物資を佐世保市民の皆さんに募り、たくさんのご協力をいただきました。

募集した品目は、新品(未使用品)の水、保存食、カップ麺、無洗米、粉ミルク、タオル、トイレトペーパー、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、歯ブラシ、歯磨き粉、紙おむつ(大人用、子ども用)、生理用品、ゴミ袋(45ℓ以上)です。

支援物資の受付は旧花園中校舎にて行い、多くの市民の方々が品物を提供して下さいました。

また、民生委員などの地域の方々や学生、関係団体など市民ボランティアの方々と市職員、社協職員が協力し合って、集められた品を受け取って数を記録したり、品目ごとに仕分けして箱詰めする作業を行い、空輸で熊本県へお送りしました。

多くの皆さんのまごころが被災地の方々へ届けられました。



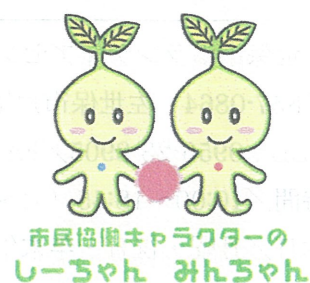
～街頭募金のご協力をいただきました～

同じく4月18日、19日に佐世保市社会福祉協議会職員により四ヶ町アーケード及び佐世保駅前にて「熊本地震義援金」の街頭募金を実施し、合計 817,035 円の義援金が集まりました。この義援金は熊本県共同募金会へ送金したのち被災地の方々へ直接配付されます。

ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

引き続き、佐世保市社会福祉協議会窓口に義援金箱を設置しております。

どうぞよろしくお願いいたします。



市民協働キャラクターの
しーちゃん みんちゃん

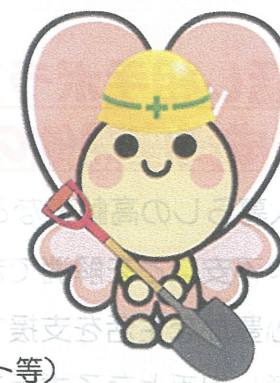


この情報紙は「赤い羽根共同募金」の配分を受けて作成しています。

災害ボランティアの心得

今回、熊本県において、地震が発生し、被災地では多くのボランティアの方が活動されています。

災害ボランティアに参加される場合は、次のような点に留意してください。



- 1 食事・宿泊場所は、基本的には用意されません。各自で確保してください。
- 2 携行品・持参品については、次のようなものが必要です。
作業着(長袖、長ズボン)、帽子(キャップ型)、雨具(カッパ、レインコート等)
防塵マスク、作業用ゴーグル、作業用革手袋・軍手、安全靴、タオル、ラジオ、携帯電話、飲物、弁当等。
また、ご家庭にヘルメット・移植ゴテ、ブルーシートなどがある場合は、持参を求められることもあります。
詳しくは、必ず現地の災害ボランティアセンターのホームページ等で確認してください。
- 3 被災地までの往復交通手段については、各自で確保する事がが必要です。なお、災害により欠航、運休、通行止め等で現地入りできない場合があります。
- 4 安全確保については、十分注意してください。活動への参加や活動期間は、家族等に必ず伝えて出発してください。
また、万が一の事故・怪我に備えて、出発地のボランティアセンターや社会福祉協議会で、ボランティア活動保険へ加入してください。
(熊本地震による災害では、天災タイプのボランティア活動保険に加入が必要です。)
- 5 未成年者の参加や主な活動内容等の詳細については、被災地の災害ボランティアセンターのホームページ等でご確認ください。

ちょっと豆知識

大規模災害時のボランティア活動保険について

地震、台風、集中豪雨、洪水、津波、噴火などの災害により被害が大きく発生した際に緊急的にボランティア活動を行う際に入ってもらふ万が一のための保険です。

被災地に着くまでの行程中の事故等にも対応でき、現地スタッフの手間を少しでも軽減する意味で、出来るだけ、お住まいの地域のボランティアセンターや社会福祉協議会で加入してから現地に出向きましょう。

天災Aタイプ:掛け金430円、天災Bタイプ:650円です。詳しくはボランティアセンターまで。

スタッフ紹介

今年度、ボランティアセンター職員が一新しました！どうぞよろしくお願いいたします。

4月1日から3名が新しく着任いたしました。
これからもよろしくお願いいたします。(富永)

九州では地震は無縁と考えていた自分の甘さに愕然とした
今回の災害。緊急時のための準備の必要性を実感しています。(らら)

毎日が勉強の連続です。皆さんに親しんでいただける「くれよん」
を作っていけるようにがんばります。(かなこ)



5月の長串山公園